

そらこめ通信

No.11 2011.6発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

さて、今年のゴールデンウィークは皆様いかがお過ごしでしたでしょうか？お天道様も遠慮がちに見え隠れしていたようで、ご自宅でゆっくりと寛がれた方も多かったのではないかと思います。北海道の桜の開花日は地域によってまちまちですが、道内のほぼ中央に位置するここ沼田町では例年だと5月10日頃との事。しかし、今年は5月中旬頃から桜が咲き始め、田植えが始まる頃がほぼ満開でした。平年よりは少し遅かったようです。でも、それで良いんです。それが自然にとっては当たり前のこと。お天気も含め、毎年、異なる状況の中で淡々と営農するのが農業人の務めなのです。今年で3年目を迎える農業生産法人「空知こめ工房」です。今年はどうなるのか…。少しの不安と大きな希望を持って今年も頑張ります。



昨年購入した水田の畦畔の手直し作業(4月29日)



畦畔の手直しが完了(5月3日)



水田用排水柵(商品名「落口姫」)の設置作業(5月3日)



父親の作業をじっと見守る息子さん～昔はあちらこちらでよく見られた光景です。



以前、転作をしていた水田に暗渠排水用の水甲栓を復元する作業(5月3日)



ケイ酸の散布と平行して別の水田では田起こし作業(5月6日～11日)



田起こしの前にケイ酸を多く含むミネラル補給資材「みつかね」を散布(5月7日撮影)～ケイ酸は昨年末の土壌検査により不足が指摘されていた要素です。これを投入することで病気にかかりにくい丈夫な稲に育つことが期待できます。土壌検査は他の農家ではあまり行われていませんが、弊社では毎年全ての圃場で実施しています。



育苗ハウスに貼ってあった紙(5月10日撮影)～それぞれ種まきされた日付が書いてあります。播種されてから、圃場に移植されるまでおよそ30～35日間です。



代掻き(5月13日)



トラフ(水路)の掃除



新品種、北海300号と北海302号の苗



花卉の移植作業(5月20日)～花の種類は「シネンシス」です。



田植えの前にトラックにひと工夫



苗の運搬作業(5月21日)



水路を利用して使用済みポットを洗浄



田植え作業開始(5月21日)



ご近所ではハート型に見える評判の桜です(5月23日撮影)

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

「生産日誌」日々更新中です(見て下さいね)

インターネットで美味しいお米♪